

行政事業レビューシート（文部科学省）							
予算事業名		心のケア対策推進事業		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁		スポーツ・青少年局		担当課室	学校健康教育課	学校健康教育課長 松川憲行	
会計区分		一般会計		上位政策	健やかな体の育成及び学校安全の推進		
根拠法令 （具体的な 条項も記載）		学校保健安全法 第8条（健康相談）、第9（保健指導）、第10条 （地域の医療機関との連携）		関係する計 画、通知等	中央教育審議会答申（平成20年1月17日）		
事業の目的 （目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内）		近年、地震等の自然災害や事件・事故、いじめや虐待などが発生した際に児童生徒に見られるPTSD（心的外傷後ストレス傷害）等の対策が極めて重要な課題となっている。このため、養護教諭や一般の教職員を対象とした効果的な健康観察や健康相談の方法等に関する指導参考資料等を作成・配布することにより、対応の充実を図る。					
事業概要 （5行程度以 内。別添可）		養護教諭や一般の教職員を対象とした効果的な健康観察や、健康相談の方法等に関する指導参考資料を作成・配布するとともに、養護教諭、臨床心理士等を対象としたシンポジウムを開催する。					
実施状況		1. 協力者会議の開催（教職員用啓発指導資料の作成検討） 2. シンポジウムの開催（本省実施）					
予算の状況 （単位：百万円）			19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
		予算額（補正後）	—	9	7	7	7
		執行額	—	12	3		
		執行率	—	130.2%	41.2%		
		総事業費（執行ベース）	—	12	3		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	適切な執行がなされているか検査するとともに、事業の内容及び目的との整合性について確認を行っている。					
	見直しの 余地	印刷原稿の作成が遅れたため、予定していた印刷・発送まで年度内に終了することができなかったことから、スケジュール管理を徹底し計画的な執行に努める。					
予算 チーム 監視 の 効率 化		1. 事業評価の観点： この事業は、児童生徒等のPTSD（心的外傷後ストレス障害）等の対策を目的とした事業であり、予算執行の観点から検証を行っている。 2. 所見： ①予算の不用が生じていることから、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算を縮減すべきある。					
補 記		20年度は他事業から流用しているため、執行率が100%を超えている。					

A. 文部科学省
3百万円

諸謝金 1. 0百万円
委員等旅費 1. 2百万円
教職員研修費 0. 6百万円

〔シンポジウムの開催や指導参考資料の作成
検討〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.文部科学省			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	会議出席謝金、シンポジウム講師謝金等	1.0			
委員等旅費	会議出席旅費、シンポジウム講師等旅費	1.2			
教職員研修費	会議費、シンポジウム資料印刷費等	0.6			
計		2.8	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0